

自己資本の構成に関する開示事項（平成 28 年 6 月末自己資本比率）

【連結】

（単位：百万円、％）

国際様式の 該当番号	項目	平成 28 年 6 月末		平成 28 年 3 月末	
			経過措置に よる不算入 額		経過措置に よる不算入 額
普通株式等 Tier1 資本に係る基礎項目					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	762,249		748,788	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203		267,203	
2	うち、利益剰余金の額	537,530		524,817	
1c	うち、自己株式の額（ ）	42,483		37,480	
26	うち、社外流出予定額（ ）	-		5,751	
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	557		516	
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	62,604	41,736	66,805	44,536
5	普通株式等 Tier1 資本に係る調整後非支配株主持分の額	-		-	
	経過措置により普通株式等 Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-		-	
6	普通株式等 Tier1 資本に係る基礎項目の額（イ）	825,411		816,109	
普通株式等 Tier1 資本に係る調整項目					
8+9	無形固定資産（モーゲージ・サービング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	4,490	2,993	4,557	3,038
8	うち、のれんに係るもの（のれん相当差額を含む。）の額	-	-	-	-
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービング・ライツに係るもの以外のものの額	4,490	2,993	4,557	3,038
10	繰延税金資産（一時差異に係るものを除く。）の額	-	-	-	-
11	繰延ヘッジ損益の額	774	516	769	512
12	適格引当金不足額	20,393	13,595	18,864	12,576
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	31	20	32	21
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
15	退職給付に係る資産の額	-	-	-	-
16	自己保有普通株式（純資産の部に計上されるものを除く。）の額	16	11	17	11
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
20	うち、無形固定資産（モーゲージ・サービング・ライツに係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
21	うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-

22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額		-	-	-	-
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに関するものの額		-	-	-	-
24	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関するものの額		-	-	-	-
25	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関するものの額		-	-	-	-
27	その他 Tier1 資本不足額		6,446		5,703	
28	普通株式等 Tier1 資本に係る調整項目の額 (ロ)		30,604		28,405	
普通株式等 Tier1 資本						
29	普通株式等 Tier1 資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)		794,806		787,703	
その他 Tier1 資本に係る基礎項目						
30	31a	その他 Tier1 資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-		-	
	31b	その他 Tier1 資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	32	その他 Tier1 資本調達手段に係る負債の額	-		-	
		特別目的会社等の発行するその他 Tier1 資本調達手段の額	-		-	
34-35	その他 Tier1 資本に係る調整後非支配株主持分等の額		-		-	
33+35	適格旧 Tier1 資本調達手段の額のうちその他 Tier1 資本に係る基礎項目の額に含まれる額		-		-	
33	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額		-		-	
35	うち、銀行の連結子法人等(銀行の特別目的会社等を除く。)の発行する資本調達手段の額		-		-	
	経過措置によりその他 Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額		371		605	
	うち、その他の包括利益累計額に係る経過措置により算入されるものの額		371		605	
36	その他 Tier1 資本に係る基礎項目の額 (ニ)		371		605	
その他 Tier1 資本に係る調整項目						
37	自己保有その他 Tier1 資本調達手段の額		-	-	-	-
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他 Tier1 資本調達手段の額		-	-	-	-
39	少数出資金融機関等のその他 Tier1 資本調達手段の額		-	-	-	-
40	その他金融機関等のその他 Tier1 資本調達手段の額		-	-	-	-
	経過措置によりその他 Tier1 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額		6,818		6,309	
	うち、適格引当金不足額		6,797		6,288	
	うち、証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額		20		21	
42	Tier2 資本不足額		-		-	
43	その他 Tier1 資本に係る調整項目の額 (ホ)		6,818		6,309	
その他 Tier1 資本						
44	その他 Tier1 資本の額((ニ)-(ホ)) (ヘ)		-		-	
Tier1 資本						
45	Tier1 資本の額((ハ)+(ヘ)) (ト)		794,806		787,703	

Tier2 資本に係る基礎項目					
46	Tier2 資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-		-	
	Tier2 資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	Tier2 資本調達手段に係る負債の額	30,000		30,000	
	特別目的会社等の発行する Tier2 資本調達手段の額	-		-	
48-49	Tier2 資本に係る調整後非支配株主持分等の額	-		-	
47+49	適格旧Tier2 資本調達手段の額のうちTier2 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	10,000		10,000	
47	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	10,000		10,000	
49	うち、銀行の連結子法人等（銀行の特別目的会社等を除く。）の発行する資本調達手段の額	-		-	
50	一般貸倒引当金 Tier2 算入額及び適格引当金 Tier2 算入額の合計額	119		126	
50a	うち、一般貸倒引当金 Tier2 算入額	119		126	
50b	うち、適格引当金 Tier2 算入額	-		-	
	経過措置により Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	29,254		30,940	
	うち、その他の包括利益累計額に係る経過措置により算入されるものの額	29,254		30,940	
51	Tier2 資本に係る基礎項目の額 (チ)	69,374		71,066	
Tier2 資本に係る調整項目					
52	自己保有 Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
53	意図的に保有している他の金融機関等の Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
54	少数出資金融機関等の Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
55	その他金融機関等の Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
	経過措置により Tier2 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	6,797		6,288	
	うち、適格引当金不足額	6,797		6,288	
57	Tier2 資本に係る調整項目の額 (リ)	6,797		6,288	
Tier2 資本					
58	Tier2 資本の額((チ)-(リ)) (ヌ)	62,576		64,778	
総自己資本					
59	総自己資本の額((ト)+(ヌ)) (ル)	857,382		852,482	
リスク・アセット					
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	4,345		4,410	
	うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のもの。)に係る額	4,309		4,373	
	うち、自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)に係る額	35		36	
60	リスク・アセットの額の合計額 (ヲ)	6,238,406		6,181,872	

連結自己資本比率					
61	連結普通株式等 Tier1 比率 ((ハ) / (ヲ))	12.74		12.74	
62	連結 Tier1 比率 ((ト) / (ヲ))	12.74		12.74	
63	連結総自己資本比率 ((ル) / (ヲ))	13.74		13.79	
調整項目に係る参考事項					
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	67,884		74,492	
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	8,037		7,512	
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-	
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-	
Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項					
76	一般貸倒引当金の額	119		126	
77	一般貸倒引当金に係る Tier2 資本算入上限額	645		790	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
79	適格引当金に係る Tier2 資本算入上限額	31,778		31,410	
資本調達手段に係る経過措置に関する事項					
82	適格旧 Tier1 資本調達手段に係る算入上限額	-		-	
83	適格旧 Tier1 資本調達手段の額から適格旧 Tier1 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
84	適格旧 Tier2 資本調達手段に係る算入上限額	18,000		18,000	
85	適格旧 Tier2 資本調達手段の額から適格旧 Tier2 資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	

(注) 1. 上記は、平成 26 年金融庁告示第 7 号に基づく開示事項です。

2. 「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会より平成 24 年 6 月に公表された「バーゼル に基づく銀行の新たな自己資本の開示事項を定める国際合意文書(資本構成の開示要件)」における開示様式に記載された項目番号です。

【単体】

(単位:百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目	平成28年6月末		平成28年3月末	
			経過措置に よる不算入 額		経過措置に よる不算入 額
普通株式等 Tier1 資本に係る基礎項目					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	715,303		701,153	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	267,203		267,203	
2	うち、利益剰余金の額	490,583		477,182	
1c	うち、自己株式の額()	42,483		37,480	
26	うち、社外流出予定額()	-		5,751	
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	557		516	
3	評価・換算差額等及びその他公表準備金の額	61,380	40,920	64,654	43,103
	経過措置により普通株式等 Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	-		-	
6	普通株式等 Tier1 資本に係る基礎項目の額 (イ)	777,240		766,323	
普通株式等 Tier1 資本に係る調整項目					
8+9	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	4,412	2,941	4,474	2,982
8	うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	4,412	2,941	4,474	2,982
10	繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
11	繰延ヘッジ損益の額	774	516	769	512
12	適格引当金不足額	28,489	18,992	27,325	18,217
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	31	20	32	21
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
15	前払年金費用の額	424	282	457	304
16	自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	16	11	17	11
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
20	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
21	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
24	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
25	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-

27	その他 Tier1 資本不足額	9,145		8,524		
28	普通株式等 Tier1 資本に係る調整項目の額 (口)	41,744		40,061		
普通株式等 Tier1 資本						
29	普通株式等 Tier1 資本の額((イ)-(口)) (ハ)	735,495		726,262		
その他 Tier1 資本に係る基礎項目						
30	31a	その他 Tier1 資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-		
	31b	その他 Tier1 資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-		
	32	その他 Tier1 資本調達手段に係る負債の額	-	-		
		特別目的会社等の発行するその他 Tier1 資本調達手段の額	-	-		
33+35	適格旧 Tier1 資本調達手段の額のうちその他 Tier1 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-			
	経過措置によりその他 Tier1 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	371		605		
	うち、評価・換算差額等に係る経過措置により算入されるものの額	371		605		
36	その他 Tier1 資本に係る基礎項目の額 (ニ)	371		605		
その他 Tier1 資本に係る調整項目						
37	自己保有その他 Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他 Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
39	少数出資金融機関等のその他 Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
40	その他金融機関等のその他 Tier1 資本調達手段の額	-	-	-	-	
	経過措置によりその他 Tier1 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	9,517		9,129		
	うち、適格引当金不足額	9,496		9,108		
	うち、証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	20		21		
42	Tier2 資本不足額	-		-		
43	その他 Tier1 資本に係る調整項目の額 (ホ)	9,517		9,129		
その他 Tier1 資本						
44	その他 Tier1 資本の額((ニ)-(ホ)) (ヘ)	-		-		
Tier1 資本						
45	Tier1 資本の額((ハ)+(ヘ)) (ト)	735,495		726,262		
Tier2 資本に係る基礎項目						
46		Tier2 資本調達手段に係る株主資本の額及びその内訳	-	-		
		Tier2 資本調達手段に係る新株予約権の額	-	-		
		Tier2 資本調達手段に係る負債の額	30,000		30,000	
		特別目的会社等の発行する Tier2 資本調達手段の額	-		-	
47+49	適格旧 Tier2 資本調達手段の額のうち Tier2 資本に係る基礎項目の額に含まれる額	10,000		10,000		
50	一般貸倒引当金 Tier2 算入額及び適格引当金 Tier2 算入額の合計額	4		4		
50a	うち、一般貸倒引当金 Tier2 算入額	4		4		
50b	うち、適格引当金 Tier2 算入額	-		-		
	経過措置により Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	27,761		28,991		
	うち、評価・換算差額等に係る経過措置により算入されるものの額	27,761		28,991		
51	Tier2 資本に係る基礎項目の額 (チ)	67,765		68,995		

Tier2 資本に係る調整項目					
52	自己保有 Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
53	意図的に保有している他の金融機関等の Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
54	少数出資金融機関等の Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
55	その他金融機関等の Tier2 資本調達手段の額	-	-	-	-
	経過措置により Tier2 資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	9,496		9,108	
	うち、適格引当金不足額	9,496		9,108	
57	Tier2 資本に係る調整項目の額 (リ)	9,496		9,108	
Tier2 資本					
58	Tier2 資本の額((チ)-(リ)) (ヌ)	58,269		59,887	
総自己資本					
59	総自己資本の額((ト)+(ヌ)) (ル)	793,765		786,149	
リスク・アセット					
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	4,664		4,756	
	うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のもの。)に係る額	4,232		4,291	
	うち、前払年金費用に係る額	395		428	
	うち、自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)に係る額	35		36	
60	リスク・アセットの額の合計額 (ヲ)	5,991,943		5,927,892	
自己資本比率					
61	普通株式等 Tier1 比率 ((ハ)/(ヲ))	12.27		12.25	
62	Tier1 比率 ((ト)/(ヲ))	12.27		12.25	
63	総自己資本比率 ((ル)/(ヲ))	13.24		13.26	
調整項目に係る参考事項					
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	62,738		66,989	
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	2,872		2,709	
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-	
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に係る調整項目不算入額	-		-	
Tier2 資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項					
76	一般貸倒引当金の額	4		4	
77	一般貸倒引当金に係る Tier2 資本算入上限額	249		345	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
79	適格引当金に係る Tier2 資本算入上限額	31,565		31,154	

資本調達手段に係る経過措置に関する事項					
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	-		-	
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	18,000		18,000	
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	

(注) 1. 上記は、平成26年金融庁告示第7号に基づく開示事項です。

2. 「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会より平成24年6月に公表された「バーゼル」に基づく銀行の新たな自己資本の開示事項を定める国際合意文書(資本構成の開示要件)における開示様式に記載された項目番号です。